

NO. 65(令和4年6月3日発行)



社会福祉法人  
**愛の鈴**  
AINO-SUZU

# 愛の鈴通信



二十歳になりました！

## 目次

- ・理事長のことば
- ・町田おかしの家 便り
- ・ケアホーム愛の鈴 便り
- ・法人本部報告
- ・町田おかしの家 商品ラインナップ
- ・アクセスマップ
- ・人事異動、その他

編集・制作：社会福祉法人 愛の鈴

智子は私に何を残したか？

智子は私の娘です。ダウン症で先天性心臓奇形でした。彼女は41歳で脳溢血で召天し、今は天国におります。彼女は弱い人、苦しんでいる人、悲しんでいる人の味方でした。

町田にある大きなホテルを持っているほどのお金持ちの老婦人が私の教会で礼拝していました。ある時、智子は突然その老夫婦の前で足を止めてハグをしました。

私はその人のことを知っていましたが、智子は知らないはずで。その老婦人も当たり前のようにハグに応えていました。

あとでわかったことですが、その人は家族の相続問題で悩み苦しんでいたそうです。

智子には苦しんでいる人がわかるようでした。

お菓子を袋に入れる作業をしていた時のことでした。かなりのコンベアスピードで包装機を動かしていました。みんなくたびれたので休憩をしました。

もうこんな仕事をしたくなくなっていて座っていた時、智子が突然大きな声で「変身」と叫びました。

あのウルトラマンの変身でした。仲間たちはみんな変身して機械を動かし始めました。

私たち夫婦は育児に関してよく喧嘩をしていました。智子は喧嘩が大嫌いで、私たちの間に入ってきて

「パパ、駄目、ママ、大好き」

と止めてくれました。

本当に私の天使でした。

「愛の鈴 おかしの家」は智子から始まりました。

2022年5月31日

# 町田おかしの家 便り

## 初夏の作業風景

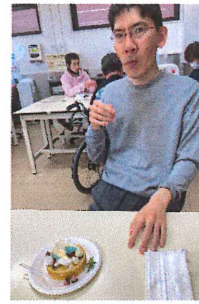


←  
桃ゼリーが  
終わり、夏  
ゆず作業の  
季節が始ま  
ります。



←  
集中してパ  
ソコン解体  
に取り組ん  
でいます。

## レクリエーション



3月16日 バームクーヘンの土台に生クリーム・フルーツ・甘寒天を思い思いに飾ってデコレーションを楽しみ、オリジナルのケーキをいただきました。



5月20日 万華鏡づくりをしました。スコープの中に広がるきれいで不思議な模様 皆さん釘付けになりました。

## 誕生日会

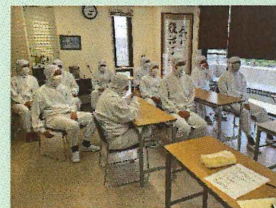
4月  
MYさん NTさん MKさん

5月  
SFさん



ご本人の好きな色の花でまとめた素敵な花束贈呈と歌で誕生日をお祝いしました。

## 衛生講習



おかしの家は仕事柄衛生をととても大切にしています。  
手洗いの重要性について、研修動画を見て、実際に指導を受けながら手洗いの練習を行いました。

# ケアホーム愛の鈴

## A・Yさん誕生日会



リクエストのオムライスでお祝いしました。

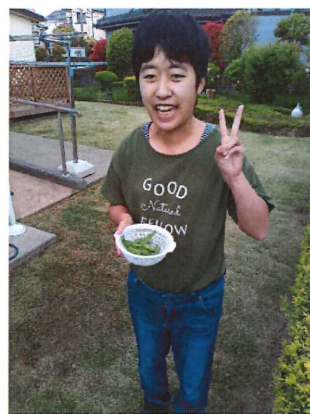
## S・Fさん誕生日会



ご本人に特技のピアノを弾いていただき皆でお祝いしました。

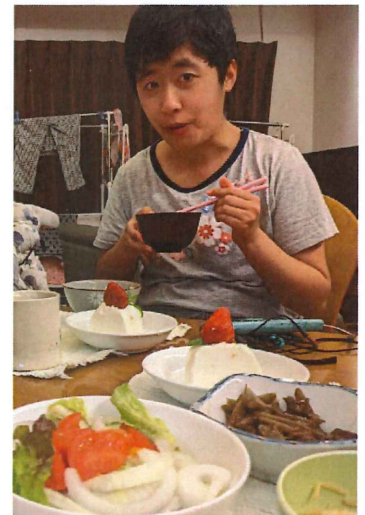


## 野菜の収穫



現在、玉葱・さやえんどうを収穫し終わりました。収穫にご協力いただいた利用者の皆さんありがとうございました。  
夏に向けて、トマト・ナス・枝豆・ピーマン等々を成育中です。お楽しみに。

## M・Oさん歓迎会



4月に入居されたM・Oさんの歓迎会。「これからもお仕事を頑張りたいです」と今後の抱負を語っていただきました。

## 新車が来ました

新車を購入しました。今後、レクリエーションや送迎、通院等に利用をしていきます。



## 法人本部報告

### 「法人監事監査 報告」

令和3年度 事業及び計算書類について (令和4年5月16日 午後実施)

### 「理事会 報告」

令和4年度 第1回 (令和4年5月23日 午後開催)

- 議案 ・ 令和3年度 事業報告
- ・ 令和3年度 決算
- ・ 令和4年度 第1次補正予算
- ・ 評議員会招集

### 報告事項

- ・ 法人本部及び町田おかしの家並びにケアホーム愛の鈴  
(運営状況報告 他)

### 「ご寄付受入状況報告」

(前回号から令和4年5月31日現在) (敬称略 50音順)

ご寄付は、法人及び事業所利用者のためにありがたく使用させていただきます。

#### <法人全体へのご寄付 (法人運営資金として) >

- ・ 浅見源司郎
- ・ 伊藤美保子
- ・ 猪野塚睦子
- ・ 植草三樹男
- ・ 宇佐美より子
- ・ 衛藤喜代
- ・ 衛藤憲一
- ・ 加藤武仁
- ・ 久保田民子
- ・ 小林悟
- ・ 齋藤謹也
- ・ 齋藤美智子
- ・ 須賀みど里
- ・ 園山鈴江
- ・ 田邊みよ子
- ・ 柰津都子
- ・ 松岡浩子
- ・ 森高登志夫
- ・ 横溝肖実
- ・ 宗教法人大和キリスト教会大和カルバリーチャペル 牧師 大川従道
- ・ 愛の鈴後援会

#### <町田おかしの家へのご寄付 (事業所運営資金として) >

- ・ 丹後美穂
- ・ 針谷正治
- ・ 舟越昭八

#### <ケアホーム愛の鈴へのご寄付 (事業所運営資金として) >

- ・ 猪野塚幸子

皆様の当法人及び事業所への温かな見守りのご支援、ご協力に感謝を申し上げます。

\*当法人では、引き続き、皆様からのご寄付を募っております。

下記銀行口座へお振込みをいただくと幸いです。

どうぞよろしくお願い申し上げます。

お振込先：みずほ銀行町田支店 (普) 1064633

社会福祉法人愛の鈴 理事 植草三樹男

# 町田おかしの家 ～商品ラインナップ～



こちらから町田おかしの家  
ホームページの商品紹介と  
商品チラシと申込書がダウ  
ンロードできます。

< 2022年 芒種 >

人気のおかきシリーズ

各種 1袋120円



揚げ煎 醤油



揚げ煎 アーモンド



揚げ煎 塩



揚げ煎 固粒



揚げ煎 甘辛

## 大好評のおやつ



プチあんじゅ 120円



こいそ豆 120円

おかき・こいそ豆はご贈答用  
に箱・袋詰めを承ります。ご  
希望に応じてのしをお付け  
します。



15袋入  
2000円



5袋入  
700円

内容量・価格を  
一新しました

チョコラスク  
500円 (12枚入)

季節商品のため休売中  
(10月販売再開予定)



## 憩いの味わい

おかきのおともに



煎茶  
850円



粉末緑茶  
700円



上煎茶  
1000円

## こだわりの逸品



有明産やきのり 特等 日高昆布  
400円 800円

※やきのりは箱詰め承ります。  
(3帖・5帖入り、別途100円)



※一部商品の価格を改定  
いたしました。

## アクセスマップ



### 就労継続支援B型 町田おかしの家

〒194-0035

東京都町田市忠生2-7-9

電話042-792-9773 FAX042-792-9767

E-mail okashinoie@ia2.itkeeper.ne.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 小山田桜台行  
町田工業高校前 バス停下車 徒歩10分



### 共同生活援助 ケアホーム愛の鈴

〒194-0038

東京都町田市根岸2-28-14

電話042-794-4120・4121 FAX042-794-4122

E-mail care.home@aino-suzu.jp

小田急線・JR横浜線 町田駅から 神奈中バス 野津田車庫前行  
・小山田行・橋本駅北口行等 下根岸 バス停下車 徒歩5分



愛の鈴通信を読んだご感想等をお聞かせください。

※ご感想等ございましたら以下にご記入の上、法人ウェブサイトもしくはFAX・お手紙等でお送りください。今後の参考とさせていただきます。



<送付先>

住所：〒194-0035 東京都町田市忠生2-7-9

FAX: 042-792-9767 (町田おかしの家)

042-794-4122 (ケアホーム愛の鈴)

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/3/>

※左のQRコードからお問合せフォームにアクセスできます

ケアホーム愛の鈴では生活支援員を募集しています。詳細は法人ウェブサイトの職員募集ページをご覧ください。ケアホーム愛の鈴までお問合せください。

URL:<http://aino-suzu.jp/publics/index/8/>



## 編集後記

日々の仕事や生活、社会の様々な問題等に向き合い、いろいろなことを考えさせられます。

「どのように解決する？」

すぐに答えが見いだせないことや解決しないこともあります。

そんな中でいつも思うことは「どうか良い方向に向かいますように」と祈ります。

自らの気持ちが塞いでしまうのを避けるために、自然と心が前に向かい働きだします。

そうすると不思議と人のご縁に支えられ、助けていただくことがたくさんあります。

福祉の仕事は、人の縁を大切に支え合うことで社会を幸せに明るくすると信じています。

「今日も一日すべてのご縁に感謝をこめて」

(茂木)

コロナ前後より「社会の分断」ということが言われています。経済格差や生活背景の違いによる相互の理解不足などによって、孤立した個人の生きづらさが問題となっています。コロナ下でコミュニケーションが難しくなったことも大きな要因とされています。

そうした課題に取り組むのが福祉の役割でもあるのですが、それは一職員・一事業所の努力だけではなく地域で協力しながら実現することが求められています。しかし、利用者の支援ニーズが高まり、これまでの取組みだけでは対応しきれない場面が増えてきた実感があります。

事業所としてはこれまで以上に日々の努力が求められますが、まずは関係者とのご縁を大切にして頂いた仕事に誠心誠意向き合う事から良い福祉の基盤づくりを考える必要があります。

今年の夏も皆様のおかげで多くの仕事をいただき感謝に堪えません。皆様との関わりは利用者の方より良い支援のための大きな力となっています。皆様とともに歩み、声なき声に耳を傾けて「社会の分断」の克服のために何ができるか考えていきたいと思えます。(原子)